

今昔物語

その61

成川飯盛地区

成川地区



昭和 44 年以前



現在

今回は、昭和44年以前に撮影された成川飯盛地区の写真を紹介します。これは長年飯盛地区に住む方に提供いただいたもので、ご家族が山に登って撮った1枚だそう
です。

写真を見ると、現在と同じ場所に粥森様や飯盛神社、JRの線路が通っています。粥森様の前に道があり、神内方面に行く道と鶴殿を通り井田に抜けて行く道がありました。

飯盛保育所やJA伊勢などは、まだ建設されていません。撮影された正確な年数はわかりませんが、飯盛保育所は昭和44年12月に建築されたため、この写真はそれ以前に撮影されたものということがわかります。

また、当時の写真の右上から左にかけて、井田から熊野大橋を結ぶ「国道42号紀宝バイパス」が昭和47年に事業化され、平成25年に全線開通したことにより、移動時間が短縮されました。

昔の風景写真を募集します

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているもの限り、受け付けていただき、このコーナーで紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

つむぎつむぎ

防災訓練に参加して

防災訓練が11月5日に行われました。この日は「世界津波の日」となっているのですが、これは1854年11月5日に起きた安政南海大地震の際の有名な逸話「稲むらの火」に由来するそうです。

12年前に発生した東日本大震災の現場を見に行かせていただいたことがあり、その惨状を見た後、しばらくの間は「もし今地震が起きればどこに逃げようか」といったことを考えていましたが、時間が経つとそうしたこと
を考えることがうすれてきたなと気づかされました。

正直起きて欲しくないというのが本音なのですが、普段から準備し、心構えしておくことの大切さを改めて感じさせられました。

(訓練では動き疲れてへとへとだった 愛野裕基)

早期健診の大切さを再確認

保健師のコーナーでは、緑内障という目の病気についてご紹介しました。私自身、これまで病名を聞いたことがある程度で、詳しくは知りませんでした。初期症状に気づかずに行進してしまつケースが多いということで、取り返しが付かなくなる前に、違和感を感じたらすぐに眼科受診が必要だと再確認しました。

私は小学生のころ、メガネをかけている友だちがうらやましくて、メガネをかけたいと願っていると、中学生のころから一気に視力が落ち、念願のメガネデビューを果たしました。しかし、いざ視力が落ちると、メガネ生活が不便で、なぜ願ってしまったんだ、と悔やんでいます。右言実行をして後悔することはあまりありませんが、この件に関しては後悔があります…。視力が回復する
ことを願う今日JGI JINYO。

(願いを叶えずきた 桑原菜史)

